

画像の認識・理解論文特集の発行にあたって



画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長 大町 真一郎

本特集「画像の認識・理解」は、本会情報・システムソサイエティ パターン認識・メディア理解 (PRMU) 研究専門委員会と情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 研究会が共同で主催した第15回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2012: 2012年8月6～8日, 福岡国際会議場) の開催に合わせて企画されたものである。

1992年に始まった画像の認識・理解シンポジウムは、現在、関連分野の研究者にとって夏の重要なイベントとして定着している。MIRU2012 (<https://sites.google.com/site/miru2012fukuoka/>) においても281件の論文投稿とともに、580名を超える研究者が一堂に会した。MIRUの口頭発表セッション、特に優秀論文セッションでは、本分野を先導している研究者らによる極めて質の高い研究発表が行われた。

本特集では、例年と同じく、MIRU2012で発表された優れた研究成果を論文として投稿して頂くよう促すとともに、画像の認識・理解に関わる新規の投稿も受け付けた。その結果、レター1編を含めて28編の投稿論文があり、慎重かつ厳正な審査を行い、20編の論文

を採録とした。このうち、MIRU2012優秀論文セッションの発表をもとにした4編は、「第15回画像の認識・理解シンポジウム推薦論文」として誌面上に明記した。ただし、査読のプロセス、採否判定基準は、全ての投稿論文において同一である。本特集に掲載された論文が、多くの研究者によって読まれ、本分野の更なる発展に寄与することを確信している。

最後に、優れた研究成果を投稿して下さった著者の方々、投稿論文を丁寧に閲読して頂いた査読委員の方々、査読結果を踏まえて厳正な審査をして下さった編集委員の方々、更に、編集委員会実務の円滑な進行に尽力頂いた編集副委員長の池内克史氏並びに編集幹事の岩村雅一氏、大塚和弘氏、堀田政二氏、煩雑な事務作業に御協力頂いた学会事務局の皆様にご心より御礼申し上げます。

おおまち しんいちろう
大町 真一郎 (正員: シニア会員) 1988東北大・工・情報卒。1993同大大学院博士課程了。同年同大情報処理教育センター助手。1996同大工学部助手。1999同大大学院工学研究科助教授を経て、2009同教授、博士(工学)。その間、2000～2001米国ブラウン大学客員准教授。IEEE, 情報処理学会等各会員。

画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長	大町 真一郎
副委員長	池内 克史
幹事	岩村 雅一・大塚 和弘・堀田 政二
委員	天野 敏之・井手 一郎・大西 正輝・大山 航
	亀田 能成・木村 昭悟・佐川 立昌・佐藤 智和
	長原 一・新田 直子・延原 章平・原田 達也
	藤木 淳・山下 隆義